

平成27年美濃加茂市教育委員会 10月定例会 会議録

1 開会日時及び場所

平成27年10月29日(木) 午前10時00分から午前11時50分まで
市役所分庁舎4階 第1会議室

2 出席者

(教育委員)

委員長 安江 ちか子
委員 渡邊 須美樹
委員 横堀 優子
委員 加納 義章
委員 矢島 良子
教育長 日比野 安平

(事務局)

事務局長 小田島 史佳
学校教育課長 古川 一男
教育センター次長 中島 永至
教育総務課課長補佐 長谷川 壮重
教育センター研修指導係長 北野 智崇

3 開会 午前10時00分

4 議事日程等

(1) 教育委員長あいさつ

(2) 教育長報告

(3) 協議・報告事項

- ・全国学力テストの分析
- ・市放課後児童健全育成事業業務委託プロポーザル方式審査委員会設置要綱について

(4) その他

1. 教育センター
2. 学校教育課の行事予定
3. 教育委員研修について

会 議 録

(1) 委員長あいさつ

安江委員長

※委員長から開会のあいさつ

(2) 教育長報告

日比野教育長

※教育長からの報告

- ・市議会の新議長、新副議長が決まり、委員会も新しい委員構成となった。
- ・JAXAから双葉中に講師（はやぶさⅡのメンバー）に来てもらい講演会があった。市長も富加町長も聴講された。タイムリーな内容で大変良かった。
- ・ピースフォーラム報告会（長崎市長列席）が10月3日あった。
- ・10月11日は育樹祭へ参加してきた。
- ・10月18日の中山道まつりでは、山手小の教諭が姫や侍役で参加。先生方には積極的に地域行事に参加してもらいたい。また、学校外での子どもの姿を見てもらいたい。
- ・教育長訪問では、個人情報漏えい、不祥事防止について話した。
- ・給食センターは好評である。

小田島事務局長

今回は議題がございませんので、協議・連絡事項から、委員長お願いします。

安江委員長

では、さっそく協議・報告事項に入らせていただきます。全国学力テストの分析について、お願いします。

(3) 協議・報告事項

- ・全国学力テストの分析 ※非公開につき、概要のみを記載

古川学校教育課長

全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、美濃加茂市教育委員会として、今後の教育活動の改善に活かしていくために分析をしました。その結果につきまして、これから担当から説明をさせていただきます。

北野係長

※プレゼンテーションによる説明

(1) 学力調査に係る市の状況・課題と向上策（案）

- ・今年度は、国語、算数・数学、理科の3教科において実施されたこと

を報告。

- ・市、県及び国の正答率、及び市と全国の比較を提示。
- ・平成20年度以降の全国比の数値の推移及び市における数値の過去3年間の比較について説明。
- ・それぞれの教科ごとで、学力・学習状況調査の分析結果と課題、向上策について説明。
- ・各学校に次のことを徹底するよう指導したことを報告。
 - ① 調査問題の把握→ 全職員が問題を解き、求められている力を理解する。
 - ② 傾向の理解→ 児童生徒のつまずきの傾向を全職員で共通理解する。
 - ③ 実態に応じた指導の工夫→ 指導改善を図るべきところはどこかを検討し、そのことについて全職員で確実に実施をしていく。

中島センター次長

※プレゼンテーションによる説明

(2) 児童生徒質問紙調査の集計及び傾向と提言

- ・小学校9校(584名)、中学校3校(498名)の質問紙調査の結果について報告。
- ・質問が多いため、「自己肯定感に関すること」「家庭学習・生活に関わること」「授業に関わること」「学校生活に関すること」「地域とのかかわりに関すること」の大きく5つの項目に分けて分析を行ったことを説明。

日比野教育長

- ・結果には学校差があることも念頭に入れておかねばならない。
- ・スマートフォン対策をしていかなければならない。
- ・家庭学習にて復習はされているが、予習について取組みが弱いのではないか。
- ・授業にて、児童生徒から分からないことに関して質問があるか。質問が出てくると授業内容が深まる。
- ・学力調査の設問を先生方にも解いてもらいたい。そして、昨年度の課題が解決されているか、また結果の分析が活かされているか検証してもらいたい。

加納委員

- ・学力調査を行うときの子どもたちのモチベーションはどうか。テストを受けるからには力を出し切って欲しい。
- ・設問によっては5人に1人も正解していないものがある。正答率についてはどう考えているか。

古川学校教育課長

- ・児童生徒のモチベーションについては、力をしっかり発揮するように、無回答を少なくするようにしていきたい。
- ・正答率については、単なる知識だけでなく子どもたちが社会に出て行

	<p>ったときに役立つ力を身につけさせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分析をしっかり行い、指導において何を大事にしなければいけないかを考える。習ったことを繰り返し指導することが大切である。成果と課題・原因を分析して活かしたい。
日比野教育長	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自分自身で考えることが大事である。 今回の学力調査は児童生徒・教師が一丸となって取り組む姿勢が見られたと思う。
安江委員長	<ul style="list-style-type: none"> 塾へ行っている子はテストに慣れていて（テストの結果が良く）、塾に行っていない子はテストの結果が悪いという傾向は。
日比野教育長	<ul style="list-style-type: none"> 今まで見たこともないような形式の設問が出されたような場合は、子どもたちも驚くことはあるだろうと思います。 学力調査は国が威信をかけて作成している。 調査に出題されるような設問はいい設問なので、授業の中で扱うことも必要かと思う。
古川学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> 「塾に行くからできる」とか「できない」とかということでないが、相関関係の分析は必要と思う。 テスト慣れすれば良いということではない。国の意図を教師が意識し、授業に取り入れていくことが必要である。教師自身もテストを解いてみて、何が求められているかを知る。
日比野教育長	<ul style="list-style-type: none"> 国際比較の中で、10年など長期展望をもって国が行っているということも念頭に入れておかなければいけない。
横堀委員	<ul style="list-style-type: none"> 先生方にも気付いていただきたい。今回もこのテストを通じて学べることが多いのではと思う。 子どもたちにとって、成績につながる通常の（授業内容の理解度を確認する）テストに比べ、学力調査に向かう姿勢とは温度差があるような気がする。 テストの後、先生が子どもたちとチェックし合いながら、又は答えを考えたりする時間を取ってほしい。
古川学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> 各学校にもよりますが、テストの設問について子どもと一緒に取り組んでいくことは大切であると思います。
横堀委員	<ul style="list-style-type: none"> 日頃、授業中に子どもたちからの質問が少ないことは感じているものの、表現力が未熟な彼らの質問内容にも丁寧に耳を傾ける余裕も先生方には望みたい。

日比野教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの翌日にもう一度テスト内容に取り組むなど、教師の姿勢が試される。
古川学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・「今回の学力調査が成績には関係がないからいい加減でも」というようなふうに考えてはいけない。学力調査を有効に活かしていかなければならない。
矢島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査を行う時点で、学習過程の進捗や習得の状況が全国で異なっているにも関わらず、テストを行い、結果が出てくるということについては。
日比野教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・点数に関して言えば、傾向を示す平均点が出てくると考えれば良いわけですが。県によってバラバラですが、かなりの人数が受験しているので、信頼はできるものになります。
古川学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市としての状況を明らかにしたいと考え、県や全国と比較をしている。 ・市として、経年比較をして、どこが弱いのかなど分析したりする必要がある。点数だけに踊らされないように留意する。
日比野教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・点数が低い設問は、平均して皆が低いということ。言い換えれば弱い処。
古川学校教育課長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日いただきましたご意見を今後の取組みに活かしてまいります。

・市放課後児童健全育成事業業務委託プロポーザル方式審査委員会設置要綱について

安江委員長	次に、放課後児童健全育成事業業務委託プロポーザル方式審査委員会設置要綱について、お願いします。
長谷川課長補佐	<p>※審査委員会設置要綱について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの民間委託を平成28年度からも継続するため、プロポーザル方式により受託業者を選考するに当たり必要な審査委員会の設置要綱を定める。 ・審査委員の一人に教育委員長を充てる。

(4) その他

1. 教育センター

安江委員長	では、その他に移らせていただきます。教育センター中島次長、お願
-------	---------------------------------

	いします。
中島センター次長	※資料に基づいて教育センターの取組について説明 ・教育相談の件数について報告 ・不登校児童生徒数及び傾向について報告 ・特別支援教室、発達障害児の支援について
日比野教育長	8月から9月は増えているが、これは美濃加茂市だけが特別多いのか、全県的なものなのか。
中島センター次長	比率としては、全県的に多いです。美濃加茂市は多く、加茂郡が少なくなってきました。

2. 学校教育課の行事予定

安江委員長	では次に、学校教育課の行事予定についてお願いします。
古川学校教育課長	※資料に基づいて、11月、12月の行事予定を説明

3. 教育委員研修について

安江委員長	教育委員研修について、お願いします。
小田島事務局長	※研修予定について説明 ・11月11日午後から、羽島市教育委員会を訪問し、不登校について研修する。

その他

小田島事務局長	※小規模特認校制度について説明 ・11月1日に三和小学校児童の保護者に対する説明会にて使用する資料に基づいて、制度を利用する条件等について説明。
安江委員長	次回の定例会の予定をお願いします。
小田島事務局長	※日程調整
安江教育委員長	では、次回定例会は、11月26日（木）午前9時から、この会議室で行います。 これで10月の定例会を終了いたします。お疲れさまでした。

|

閉会 午前11時50分